

栃木県教育委員会 県立高等学校再編後期実行計画に基づく 田沼高校と佐野松陽高校の統合について



教頭 大塚 雄一

る総合選択制専門高校として、新たに出版することとなりました。校舎は主に本校校舎を使用し、福祉学科については、一部田沼高校の校舎を使用する予定です。

現在、平成二十三年度からの新校立ち上げに向け、地域の有識者の皆様及び教育関係者の皆様で構

同窓生の皆様におかれましては、日頃より本校教育活動にご支援ご協力をたまわり厚く御礼申し上げます。

ところで、すでに新聞紙上でも発表されておりますが、平成二十三年度より本校は、栃木県教育委員会県立高等学校再編後期実行計画に基づき、田沼高校と統合し、一学年六学級構成で、工業学科、商業学科、家庭学科、福祉学科の四学科からなる

成する田沼高校・佐野松陽高校新校設立準備委員会や両校の実務担当者及び県教育委員会実務担当者で構成する田沼高校・佐野松陽高校新校設立実務作業部会を中心に準備を進めております。新校の教育活動の骨格となる教育目標や育てる生徒像、特色ある教育活動などの検討の他に、生徒達が三年間学ぶ教育課程の編成、また、それを踏まえての施設・設備の整備など、新校設立に向けた様々な課題に対して、県教育委員会の指導を仰ぎながら、具体的な方策を検討・準備しているところです。

同窓生の皆様には、今後とも地域を支える専門高校として、今までの工業学科、商業学科に家庭学科、福祉学科を加えた四学科からなる総合選択制専門高校としての本校の益々の飛躍のために、厚いご支援を深くお願い申し上げます。

新校立ち上げに向けての更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

田沼高校と佐野松陽高校の統合による新校立ち上げについての紹介とさせていただきます。

： 個人情報の取り扱いについて :

佐野松陽高校同窓会は、同窓会員の個人情報に関し『(株)NTT東日本「群馬」』と契約を締結し、厳格に管理・運営をしております。

従いまして、現在、住所・氏名等の変更がありましたら添書にあります「異動通知連絡カード」の記入・返送をお願いいたします。

引き続き個人情報情報の管理については、細心の注意を払います。

【平成23年度入学生】

田沼高・佐野松陽高新校(男女)
工業学科
商業学科
家庭学科
福祉学科
4学科
6学級程度

【平成22年度入学生】

田沼高校(男女)
普通科 3学級(120名)
福祉学科 1学級(30名)

佐野松陽高校(男女)
工業学科 2学級(80名)
商業学科 3学級(120名)

(栃木県教育委員会総務課高校再編推進班資料より)

**田沼高・佐野松陽高校
統合の概要**

○田沼高校と佐野松陽高校を統合し、工業・商業・家庭・福祉の四学科を擁した総合選択制専門高校を設置する。

○佐野松陽高校の校舎等を主に使用する。

同窓会ホームページ作成のお知らせ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/sanoshoyo/>

平成22年3月より佐野松陽高校のホームページに同窓会のスペースがアップされることになりました。同窓会の事業活動を同窓会員諸氏にお伝えします。上記アドレスまたは佐野松陽高校から検索して、クリックしてください。



学年同窓会を開催しませんか――

街中で偶然友達とばったり！
「その時友人との話題に花が咲いて・・・」
「部活で一緒に汗を流した
今どうしているかな？」
こんな経験はありませんか？

同窓会では、学年同窓会の開催に対し同窓会員データと費用の一部を提供します。是非活用してください。詳しくは学校同窓会事務局へ連絡してください。

編集後記

会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

佐野松陽高校同窓会会員八五四七名を排出した母校も三十六周年を迎えようとしております。此に際し、同窓会会報第三号の発行に至りました。学校と同窓会員を結ぶ手段の一つとしてインターネットのホームページがご案内の通り開設されました。

このHPは、生徒の学習の一環としての意義もあり是非同窓会員の皆様に活用されますようお願い申し上げます。

最後に、この同窓会会報の発刊にあたり、玉稿を賜った方々及び編集にご協力をいただいた関係各位に深くお礼を申し上げます。

また、この会報を拝読頂いた会員諸氏が、高校生活・青春時代を思い出す一端になれば幸いです。

生徒たちのために、今後も実りある国際交流が出来るように、日々研究を積み重ねていきたいと思っています。

復活から関東大会まで ソフトテニス部顧問 落合 正則

私は平成十三年に佐松高に赴任した。その頃は以前活躍していた男子ソフトテニス部は廃部になっていた。

しかし、翌年の入学生たちが是非ソフトテニスをやりたいと当時女子部の顧問だった恩田先生に相談し、同好会を経て、翌年男子部が復活した。

その当時の部員たちは中澤部長の下よく練習を重ね、団体戦こそ上位入賞はならなかったが、個人戦では五回戦（ベスト三十二）まで進出していた。しかし目標の関東大会出場まであと一勝という壁が厚く、その後も五回戦止まりが続いた。ただ



着実に実力をつけてきており、平成十八年から団体でもベスト八に入るようになり、冬の選抜大会に三年連続で出場することができた。

そして、平成十九年の関東予選会で高島・川田ペアがその壁を破り、念願の関東大会出場を果たした。本選では実力が発揮できず、ファイナルの末初戦で敗退したが、目標が現実のものとなり、その後の選手たちのやる気もはつきりと見えてきた。

関東大会に出場して

演劇部顧問 島田 智子

佐野松陽高校演劇部は、平成十三年度に同好会として発足しました。

平成十五年度に初めて地区大会へ参加し、最優秀賞を受賞して県大会への出場を果たしました。そして、平成十六年度には同好会から部活動に昇格し活動を続けています。

その後も県大会への出場を果たしてきましたが、平成十九年度、二十年度には県大会で優秀賞（県大会二位）に入賞し、関東大会への出場を果たすことができました。部活動に昇格してから四年目の快挙であります。

足利・佐野ブロックから関東大会への出場は七年ぶり、専門高校としては二十七年ぶりの出場でした。これは商業科教員の私にとっても嬉しいことであり、この経験を演劇部だけの経験に留めることなく、多方面にわたって生かしていければと考えています。

ここまでの活動は、部活動に参加している生徒の頑張りや周囲の応援、協力があったからこそであり、大変感謝しています。関東大会出場の際には、同窓会からもご支援をいただきありがとうございます。

部活動を通して生徒たちは色々と成長していきます。仲間と切磋琢磨しながら一つの作品を作り上げていく

そして二十一年度、宮口・磯貝、早川・毛塚の二ペアが関東選手権大会に出場した。どちらも初戦敗退であったが、これからの選手には上位大会での勝利を目標に頑張ってもらいたい。

く作業は、時には苦痛も伴いますが、それ以上に上演後の達成感は何にも変えられない喜びを運んでくれます。



今後も、その喜びを味わえるよう生徒とともに頑張っていきたいと思っています。

陸上競技部

陸上競技部顧問 倉持 巖雄



佐野松陽高校 陸上競技部は、前身の佐野商業高校陸上競技部

が昭和四十九年に創部し今年で三十五年を迎えています。

その当時も、バレー部、剣道部、テニス部が関東大会に出場するなど部活動が活発でした。

陸上競技部も五年連続全国大会出場、八年連続関東大会へ出場しています。

私が赴任した三年前は部員は二名しかおらず寂しいかぎりでした。二年目で十名入部し現在は主に赤見町の佐野市陸上競技場で練習しています。

今年入部した新井真亜紗選手は国体予選大会で一〇〇m、十二秒九二で優勝し更に最終選考会では一〇〇m、十二秒六四と、さらに記録を伸ばし昭和五十五年以来、二十九年ぶりに国体に出場いたしました。新潟国体では一〇〇mと四〇〇mリ

家族と母校

第七回卒 桂野 透



卒業してから三十年、佐野商業に入学し、話もした事、無いたが卒業後、偶然の出会いから夫婦となり、息子も同じ高校に通う事になるなど不思議な縁だと感じております。

私の高校生活は、『栃の葉国体』の出場に向け、部活動で仲間と共に努力した事です。

しかし、出場の夢は叶いませんでしたが、その時の、仲間と共に流し

親子二代同窓生

家族全員が同窓生

第七回卒 横塚 美恵子(旧飯嶋)

学校創立三十五周年おめでとうございます。私は、佐野商業高校（現佐野松陽高校）第七回卒業生です。

主人も、長男、次男も卒業生で現在、三男が同校に在学しております。家族五人全員が同窓生になるとは思ってもいませんでした。とても不思議な感じがしています。

在学中の三男は、野球部に所属しており、主人と長男の後輩にもなります。夕食の時には、野球の話で

レーの三走に出場し準決勝に進出しました。将来の活躍が期待されます。今後も温かく見守っていただきたいと思います。

た汗と涙は、今でも人生の貴重な財産となっておりま。

妻は生徒会副会長、息子も生徒会会長という重責に耐えながらもやり遂げ、母子二代に渡り貢献してくれました。

今でも、夫婦で高校時代の話で盛り上がることから、お互い人生の中でこの頃が一番記憶に残り、印象深かったのだと思います。息子もそう思う時がくることでしょう。

最後に、私達家族に出会いと思いを与えてくれた佐野商業、そして佐野松陽に感謝すると共に、佐野松陽の更なる発展と在校生、同窓会の皆様のご活躍を願っております。

盛り上がりたり、反省会をしたり、学校生活の話など、楽しい団らん時間が多々あります。次男は、本校が三十周年を迎えた節目の年に、生徒会長をさせていただきまし。まさか自分の息子が生徒会長になるとは、夢にも思っていなかったため大変誇りに思っております。高校時代の貴重な時間は人生における財産であり、今の家族の姿があるのだと思います。ご指導くださった諸先生方に深く感謝しております。

最後に、佐野松陽高校の更なるご発展と、同窓会の皆様のご健康をお祈りいたします。



学校報告 (2)

新聞・朝日新聞・NHK・とちぎテレビ・大阪読売テレビ・NHK栃木FMといった新聞・テレビ・ラジオなど各種メディアでも取り上げていただいた。なかでもNHK首都圏ネットワークの首都圏元気で放送された後のいもフライのヒットぶりは目を見張るものがあり、テレビの全国ネットでのいもフライの登場回数も増えていった。残念だったのは「カミングアウトバラエティ 秘密のケンミンSHOW」で、いもフライが取り上げられた時、「いもフライ体操」についても本校にオファーがあり、「いもフライ体操」の映像をテレビ局に渡してあった。スタジオ収録

マイコンカーラリー

全国大会出場

情報制御科 山口孝

情報制御科ではここ数年、課題研究でマイコンカーラリーの製作に取り組んでいます。

ロボットの製作を通して「ものづくり」の楽しさと難しさを体験してもらおうことを目的としています。真冬の札幌で開かれる全国大会出場を目指して、アイデアと製作技術、そしてプログラミングの学習をしています。

マイコンカーラリーとは、マイコンを搭載したロボットが、直線、カーブ、クランク、レインチェンジ路、坂道が含まれるコースを自律制御で走り、タイムを競う競技です。

北関東大会は平成二十年二月七日



録では出演者たちは「いもフライ体操」を見たそうだが、実際の放送では時間の都合で残念ながら放映はされなかった。

また、朝日新聞に紹介された際には、当時プロ野球の横浜ベイスターズで佐野市出身の石井琢朗選手が、自身のブログに記事を紹介し、これがきっかけでこの年の横浜スタジアムでのベイスターズの試合の時にいもフライが販売されるようになった。石井選手は翌年、広島カープへ移籍したが広島球場でもいもフライが販売された。

現在までに様々なメディアで「佐野名物いもフライ」が登場してきたが、そのきっかけは間違いなく本校生徒たちの活動に起因するものと思っている。この活動は、平成十九年度の「栃木

に宇工高で行われ、BASISクラスで優勝し、全国大会へ出場することになりました。

全国大会は平成二十一年一月十一日札幌国際情報高等学校で行われました。前日の試走では完走し、当日の予選では、調整ミスもあり完走できず残念な結果となりましたが、とても貴重な経験をしたと思います。これからも各種ロボット大会での活躍を期待しています。

県生徒商業研究発表会」でも発表し優秀賞に輝いた。生徒と一年間をかけて取り組んだ「佐野名物いもフライ総合プロデュース大作戦」の活動は、生徒一人一人に大きな体験と自信と思い出を残すことができたと思う。

最後に、活動にあつたつては本校同窓会の皆様方に多くのご協力を頂いた事に感謝申し上げます。

平成十九年度 オーストラリア語学研修の 引率をして

英語科 川島千枝

私は、平成十九年七月二十三日から八月五日まで、保健体育科の高久先生と共にオーストラリア語学研修参加生徒十四名を引率させて頂きました。成田空港を夜の八時の便で出発して、シドニーからオーストラリアへ入国しました。最初の三日間は、シドニー近郊をマイクロバスで観光をしたり、生徒が班別に別れて、シドニー市内の自由行動を行ったりしました。その後、国内線を利用して、本来の目的地であるブリスベンへ移動して、本校の姉妹校であるブリスベンボーイズカレッジ(BBC校)との交流が始まりました。参加生徒たちは、BBC校の生徒宅にホームステイをし、ホストファミリーの子供と同じ授業に出席をし、体験通学をしました。そういった中で、彼らは様々な人との交流やアクティビティを通して、それぞれ目標を決めて自分たちなりに語学研修を行っていました。

今回は、引率である私自身も一参加者であるという自覚を常に持ち続けるように心がけました。特に今回の派遣では、「国際交流は一粒で何度でも違った味がする」ということを改めて実感しました。オーストラリアは、多民族国家で、どの土地に行っても人種のモザイクが存在します。街の中心部へ行けば、中東の国にきたのか、アジアのどこかの国にいるのかという錯覚にも陥ります。同時に様々な言語も耳に入ってきます。シドニーのチャイナタウンで美味しい飲茶が楽しめたのも、生徒たちにとっては、オーストラリアとはどんな国であるのか印象付けた一要因だと感じました。勿論、BBC校自体も、白人生徒が大多数を占めるとはいえ、多民族社会です。アジア系移民の子供たちも大勢在籍しています。今回、何名かの生徒もアジア系のホストファミリーにお世話になりました。彼ら独自の文化も体験できたようです。また、BBC校は、初等教育から高等教育まで行っているキリスト教系の私立の男子校です。男女共学の公立の専門高校である本校とは異なった面があります。授業も大半が選択科目で、毎時間ごとに教室を移動し、一緒に授業を受けるメンバも異なります。こういった学校や学校のシステムの違いを取って見ても、参加した生徒たちにとっては異文化であり、自分たちの視野を広げる立派な材料になったと思います。もう一点、非常に印象に残った出来事は、三分間シャワーです。特にブリスベンでは、水不足が深刻で、節水運動が盛んに行われていました。どの家庭でも、風呂場に砂時計を置

いて三分間シャワーというルールが厳守されていました。三分間シャワーに対して不満を感じていた生徒たちも、同時に水の大切さと、普段自分たちがいかに水を好き勝手に使用していたのか実感出来たようです。ホテルに滞在した私も、生徒の立場になつて三分間シャワーを実行し、水の有難さを肌で感じました。

オーストラリアへの派遣期間は、二週間でしたが、本当の意味での国際交流は個人レベルでこれからスタートするのだと思いました。お世話になったホストファミリーの子供を、日本の自宅に受け入れて更なる友情を深めた生徒もいるし、将来はツアーコンダクターになりたいと自分の夢を見出した生徒もいました。また、オーストラリアのことを友人や家族に伝え、そこから新たな理解を深めようとしている生徒もいました。また、彼らが将来、何か大きな選択を迫られたときに、この研修での成果がどこかで現れることを期待したいものです。

最後に、このような充実したオーストラリア語学研修を体験できたのも、多くの方々からのサポートのおかげであると実感しています。特に企画の段階から帰国後も、暖かく見守りながら支援をくださった同窓会長様をはじめ、BBC校との交流を続けてくださった同窓生の皆様、常日ごろから様々な助言をくださった国際理解教育係の先生方、出発前の英会話の指導をくださった英語科の先生方、ALTの先生に、この場をお借りして多大なる感謝を申し上げます。二十一世紀を担う

いものでありました。そんなある日、学校法人の巡回監査で顧問先へ向うき、経理担当の事務総長さんにお会いしたところ、それは何と、かつての母校の校長先生ではありませんか。そこから毎月、仕事上においてのお付き合いが始まりました。すると、運命の再会は校長先生だけではありませんでした。それから何年か後、学校法人の公認会計士の監査のご依頼の仕事で訪問したところ、それは公認会計士の新村武志先生でした。ビックリです。それは入学当時の教頭先生でした。新村先生とは仕事上のお付き合いは元より、現在も公私

オーストラリアへの

語学研修を通して

第三十五回卒 大橋 美紀

平成十九年、私はオーストラリアへの語学研修に参加しました。学校での事前研修を何度も行い、私達は不安の中研修に参加しました。オーストラリアに到着し、入国検査から自分達の語学力を試すことになりました。



高校生
の英語力
では限界
があり、
苦勞もた
くさんし
ましたが、
シドニー
での観光
を終えブ
リスベンでのホームステイに挑みま
した。

共々お世話になっております。入学当時の校長、教頭先生とのお付き合いがあるとは想像もしておりませんでした。単なる出会いではなく、こうして現在もお付き合いをさせていただいておられますことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

社会人になった今、両先生からは感謝の念について再び教えをいただきました。感謝の念については、現在も日々精進することを心掛けております。どうぞこの先も、我が母校佐商高の歴史を踏まえた一層の発展をご祈念しております。

研修で一番苦勞したのは、ホストブラザーが風邪で寝込んでしまい、学校を一人で登下校したこと。今思えば貴重な経験でしたが、その時はとても不安でした。

た。オーストラリアは親的な国なので、彼が寝込んでいた時も近所の子達は気軽に私をテニスに誘ってくれ、時に恋愛についての話もしてくれました。

最終日は皆で写真を撮ったり連絡先を交換したりし、名残惜しい中帰国しました。

帰国後、研修を題材に英語スピーチコンテストにも参加しました。

私は今、学校で英語を学んでいます。先生は外国人ばかりで英語力のなさに落ち込む時もあります。

研修に参加し、英語を好きになり、もつと英語力をあげコミュニケーションをとりたいと思いました。

今の自分にもこれからの自分にもかけがえのない経験です。

オーストラリアの思い出

第三十四回卒 石川 仁美

私は、一学年と三学年の時と二度に亘りオーストラリアの語学研修に参加しました。海外へ行くのも初めて、英語も得意なわけではない私は、楽しみの半面、不安も沢山ありました。しかし、その不安はすぐ解消されました。とても歓迎してくれ、オーストラリアのことや、学校のこと、家族のこと、友達のことなど色々なことを話して聞かせてくれました。学校では沢山の友達ができ、最後の学校の日には、送別会を開いてくれ、仲良くなった友達やホストファミリーが集まってくれました。本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

私はこの語学研修で、普通に生活をしていていたような体験を沢山しました。今までより社会や将来を見る視野が広がったような気がします。今でもホストブラザーとメールのやり取りをしています。私は一つの約束をしました。私がオーストラリアに行き再会することです。もう一つの家族に会えるのをとても楽しみにしています。



学校報告 (1)

「佐野名物いもフライ」 総合プロデュース大作戦

商業科 大橋 順

本校の商業科では、毎年、三年生の課題研究の授業を通して、佐野市の活性化や町興しに関する取り組みを行ってきた。平成十九年度は今までに一度も取り上げたことなかった「佐野名物いもフライ」を取り上げて活動を行うこととなった。

まず最初に生徒と考えたのは、いもフライは佐野市内では当たり前のソウルフードでありB級グルメとしての認知度も高いが、佐野市以外ではまだまだ知られていない事で、このいもフライをいかにPRしていくかであった。そこで、いもフライをPRするための歌や踊り、キャラクターを作つてはどうかということになり、生徒自らが作詞・作曲・ダンス(体操)の創作を手掛け、「いもフライ体操」を完成させた。また「いもフライ体操」のCDとDVDも制作し、佐野市内の幼稚園や保育園に配布させていただいた。

この年の佐野秀郷まつり、どまんなかフェスタ、佐野らーめん会イベント、佐野市国際交流会イベントで「いもフライ体操」を披露し、「佐野名物いもフライ」のPR活動を行った。いもフライのキャラクターの着ぐるみなども生徒が自主製作し、イベントに登場し子供たちに大好評であった。またあかみ幼稚園での幼児との交流でも「いもフライ体操」を

生徒と園児たちが一緒に踊るなどの交流も行った。

その他、本校職員の畑をお借りし、生徒自らがジャガイモを有機無農薬で栽培し、地域の町内会の夏祭りや学校祭で

いもフライを作り販売実習も行っている。

また、いもフライの味の決め手はソースにあるが、佐野市内のいもフライは、地元のソースを用いているお店が多い。そのソースを地元ソースメーカーでミツハフフルーツソースの早川食品と生徒が協力し、生徒自らがソースの味の配合などを考えオリジナルソースを提案した。ソースは二種類で、市内のいもフライ店の多くが二・三種類程度のソースを混ぜて店独自の味を作り出しており、それを再現した「佐野松陽オリジナル・ブレンドソース」と、比較的フルーティーなソースが多い中で、今までにないピリ辛味のソースで新たな需要が掘り起こされるのではないかと考えたのが、「佐野松陽オリジナル・スパイシーソース」である。この二種類のソースは大変に好評で、取り組みから三年たった現在でも年二・三回程度イベントなどで販売をしており、リピーターがいるほどになっている。

この取り組みは、下野新聞・読売

